

■ 施策評価シート

施策番号	12-01-①
施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚

<p>施策の概要</p> <p>自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、災害時要援護者への個別支援体制づくり、また、住宅耐震化の支援などを進めます。</p>
--

成果指標(単位)	自主防災組織結成率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	90	91	92
実績値	91.6			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成25年度の実績は、1町内会が自主防災組織を結成したが、新たに設立された2町内会は未結成のため0.4ポイント下がっている。 目標値は平成27年度まで達成しているが、新しく町内会を設立した際に、自主防災組織が結成されないことが多いことから、消防署と協力して、町内会設立時に結成を進めると同時に、未結成町内会にも積極的に呼びかけを行う。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>自主防災組織単位での訓練に、防災倉庫の資機材を利用した訓練が行われるなど、積極的に訓練を促せた。各町内会にアンケートを取り、町内の防災力を数値化した、「ご近助力見える化調査」を行い、地域の実情にあった防災指導が可能になるデータを作成した。これを基に今後町内会の訓練の更なる充実化を図る。課題である自主防災組織の増加については管轄の消防署とともに、設置の呼びかけを行う。</p>
---

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>ご近助力見える化調査の結果に基づき、学区、町内会の訓練指導の充実化を図る。その中で装備品の充実に対しては、平成26年度より拡大している自主防災組織事業補助金の備品補助を継続して行い、補助金の活用件数が増えるよう呼びかけを行う。組織内のマンパワーや不足しているノウハウを補うために、地域の防災リーダーである消防団、市民防災員、防災指導員などの防災機関と連携し支援にあたる。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織の訓練実績については、昨年度と同様186組織中155組織であるが、備品購入補助金の活用は10件増加し、総額も70万円程度上がっており、地域の防災意識に高まりが見られる。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課
民間建築物耐震化助成事業	建築課
震災避難経路整備事業	建築課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-02-①
施策名	消防体制・基盤の充実

<p>施策の概要</p> <p>消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、中核的な防災拠点の整備などを進めるなど、迅速・確実な消防活動を確保し、また、業務の広域化による効率化に努めます。</p>
---

成果指標(単位)	実消防団員数/定数(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		94	95	96
実績値	93.6			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>消防団員数が昨年度より2名減となったことに加え、分団を分割し、新たに7分団を設立したことに伴い、定数を5名増やしたことにより、2.9%減少となっている。、消防団員の、団員の高年齢化に伴い退団者が増加し、就業者における被雇用者が占める割合の増加など、以前から消防団の入団対象となっていた層から入団者を確保することが難しくなっていることが考えられる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>防火対象物の増加・高層化が著しい大路区・渋川学区を管轄する第7分団を設立し、消防団活動の充実化を図った。また中核的な防災拠点としての西消防署・コミュニティ防災センターの移転・新築を計画通り進めた。消防団員の確保につきましては、喫緊の課題と考えていることから、団の組織、待遇について検討を行う必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>消防団員の確保につきましては、機能別分団も視野に入れて検討を行う。また平成25年12月13日に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、待遇の改善、装備力の強化を行う。さらに、玉川・南笠東学区を管轄する第8分団を平成28年度に発足させることから、地域住民の理解、事業所の協力が必要不可欠であることから、積極的に消防団のPRを行い、地域への浸透度を高める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防活動に必要な設備の整備や維持を行い、迅速・確実な活動の確保ができた。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団員の増員は出来なかったが、第7分団の新設により、消防団活動の充実化が図れた。
消防設備整備事業	危機管理課	○	西消防署・コミュニティ防災センターの移転/新築計画を予定通り進められた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
消防水利維持管理事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-02-②
施策名	地域防災体制・基盤の強化

<p>施策の概要</p> <p>災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を確立・強化するほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備などに努めます。</p>
---

成果指標(単位)	災害に強いまちであると感ずる市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	24.0	25.0	26.0
実績値	20.4			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>大雨特別警報が発令された台風18号では、屋外スピーカーが聞こえにくいなど災害時の情報伝達についての不満の意見が多く聞かれた。また人的被害はなかったものの、河川の越水や、林地崩壊や、下水道の満水などハードの整備も必要なことから、2.0%の低下につながった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>情報伝達体制について、屋外スピーカーやラジオの内容をインターネット環境下にあるパソコンやスマートフォンでも視聴が出来るようコミュニティFMのインターネットラジオ化を行い情報伝達の広域化と多重化を促進した。 また、備蓄食料について備蓄計画に基づき、各倉庫に分散配置を実施した。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>平成28年4月開校予定の老上第二小学校(仮称)の備蓄倉庫に、防災備蓄物資を整備することにより、地域の防災体制の強化を図る。 また、県が平成25、26年度に実施した地震被害想定見直しと市が今年度実施する防災アセスメント調査の結果を勘案した備蓄計画を検討していく。</p>
---

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	◎	これまでの事業に加えて、緊急放送のインターネットラジオ導入による情報伝達手段強化や多言語防災ハンドブックの作成配布など、幅広い取り組みを実施し、本市の防災体制の強化に寄与することができた。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練の実施により、水防活動の強化を図ることができた。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	関係機関との連携により、迅速な水防体制づくりを図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
防災パトロール事業	河川課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-03-①
施策名	自主防犯活動の展開

<p>施策の概要</p> <p>学区単位の防犯組織や防犯ボランティア団体などへの活動支援などを通じて市民の防犯意識の高揚に努めるとともに、増加している自転車盗の削減を中心に犯罪抑止対策を充実させます。</p>
--

成果指標(単位)	犯罪率(人口1万人あたりの犯罪件数)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		162	157	152
実績値	169.6			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>犯罪率は昨年度の目標値(167件)を98%達成し、平成24年度の188.6件から19件(10%)減少した。昨年は、多発する自転車盗対策を重点的に進め、防犯カメラ補助制度やワーストランキングの公表を通じて事業者による主体的な取り組みを促した結果、自転車盗認知件数が減少し、犯罪率の減少に大きく寄与したものと考えられる。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>自転車盗対策については、ワーストランキングの公表により駐輪場事業者の大きな意識改革につながった。今後も警察と連携して定期的な指導を行い、事業者の自発的な取り組みの継続を促す。事業者の意識改革は概ね達成できたことから、今後は市民の意識改革をいかに図っていくかが課題である。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>市民の意識改革を図るため、ワーストランキングをより広範に周知させる必要がある。自転車盗も含めて、地域の犯罪発生状況を可視化して、犯罪情勢に対する正しい現状認識を促し、防犯意識の向上を図る必要がある。また、ワーストランキングのような画期的対策を自転車盗以外にも講じていく必要がある。</p>
---

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>滋賀県警察において、平成25年12月から翌年3月末まで、エスクエアにて無施錠自転車への強制施錠の取り組みを実施された。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	ワーストランキングの公表が事業者の大きな意識改革につながった
防犯灯設置費補助事業	危機管理課	◎	LED防犯灯給付事業は、1,800灯の目標に対して、2,176灯と大きな成果があった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-03-②
施策名	防犯設備の維持・整備

<p>施策の概要</p> <p>防犯灯の整備および維持により、良好な夜間環境を構築し、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めていきます。</p>
---

成果指標(単位)	犯罪率(人口1万人あたりの犯罪件数)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	162	157	152
実績値	169.6			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>犯罪率は昨年度の目標値(167件)を98%達成し、平成24年度の188.6件から19件(10%)減少した。各種防犯啓発活動などのソフト事業とあわせ、防犯灯整備による良好な夜間環境が構築されたことも、減少の一因と考える。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>市直接整備による防犯灯は概ね充足してきており、今後新たな対策を検討する必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>市直接整備による防犯灯の台数を見直し、別の対策を検討することも必要である。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	当初の目標どおり、55灯の防犯灯を新設し、既存の防犯灯と併せて適正に維持管理した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-04-①
施策名	河川・排水路の整備

<p>施策の概要</p> <p>河川・排水路の適切な整備により、まちの雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るとともに、一級河川の早期整備に向けた要望活動に取り組みます。</p>
---

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%) : 実施件数/町内会要望件数			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		100	100	100
実績値	67			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成25年度は、台風18号の被害対応に対する予算が必要となったため、要望案件の実施が出来なくなり、実績値が低くなった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>各町内会からの要望に対する水路整備を行い、雨水排水能力の向上を行ったが、昨年は台風18号で発生した被害対応が急務となり、整備が遅れている。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>台風18号の被災を受け、浸水被害に対する住民意識が高まっており、今後、町内会より出される要望事項の対応と未実施分の早期実施に努める。</p>
---

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	水路改修の実施により、実施対象地域の排水能力の向上が図れた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。



■ 施策評価シート

施策番号	12-04-②
施策名	公共下水道雨水幹線の整備

<p>施策の概要</p> <p>大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水排水路を整備します。</p>
---

成果指標(単位)	公共下水道整備進捗率(%) : 累計整備面積/計画(認可)面積			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	65.3	65.4	65.7
実績値	65.1			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>雨水の吐口である一級河川の整備は、県事業として取り組みをなされているが、期間と多額の事業費を要し進捗が図れていないため、雨水整備の着工時期が遅れている区域があるので、実績値としては低くなったと考えられる。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>平成25年度は、矢橋2-1号、新浜2-2号、狼川6-1号の雨水幹線整備を行っており、供用開始区域に関しては浸水被害の未然防止が図れた。</p>
--

<p>評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方</p> <p>平成25年度の台風18号の被災を受け、浸水被害に対する住民意識が高まっており、引き続き、浸水被害の軽減・未然防止を目的とした雨水排水路の整備の進捗を図る。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>
-------------------------------

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水幹線整備事業	河川課	○	予定通りの雨水排水路の整備を行うことができた。
雨水幹線維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。